

TOPIC. 株式会社ミズ 地域連携・予防事業グループ



プラザ（以下：プ）：社会貢献を始めたきっかけは？

田久保（以下：田）：2009年に「地域貢献委員会」という社内ボランティア組織が立ち上がり、株式会社ミズという企業として、地域へ貢献するとはどういうことが課題になってきました。



ミズは企業なのですが、お客様からいただいたお金だけで営業しているわけではなく、病院と同様に、患者さんが3割負担（高齢者の方だとほとんどの方が1割ですが）、残りは国民の保険料で賄われていますので、公的な立場により近いのです。

そこで、当時、話題にもなっていた認知症高齢者の問題に、社内はもちろん、学校、他の企業にも呼び掛けて、オレンジリングや認知症サポーター養成講座積極的に受講するよう取り組みました。今では社員のほぼ全員がこの養成研修を受けています。

プ：地域連携予防事業グループという新しい部署とは？

田：私たちミズのテーマは「佐賀をもっと元気にしていきたい」「病気になって治療するのではなく、病気になる前に予防しましょう」ということです。2014年に市内木原に「そいよかね」という施設をオープンしました。それを建設する時に、まちづくりをどうするかという話をして、地域と密着したお店づくりをしようという取組を含めて、地域と連携をやっていこうという方向性を打ち出しました。

地域連携予防事業グループは、2年前に社内にできた新しい部署で、介護予防や生活習慣病予防を薬局としてもやっていこうという目的をベースに、それをまちづくりや地域貢献を通して事業化していこうというグループです。

プ：「地域の困り事」を事業化するには？

田：地域に出て出張講座などをしますが、それで終わってしまうと企業活動としては止まってしまう。



社会貢献も事業として成り立っていかないと続けることはできません。社会貢献をしながら、事業とどうリンクさせいかかが課題です。地域に出かけて行き、地域の方と仲良くなれば、色んなご意見やご相談をいただくことがあります。それを「地域の困り事、悩み事」として解決してあげるのが企業なので、

その「地域の困り事の解決」を事業化できないか、色んな取組をしてチャレンジしているところです。そこで得られた結果をエビデンス（その治療法が選択されることの科学的根拠、臨床的な裏付け）と言われる医学的な知見を確立させて、それをサービスとして提供できるようにします。2015年6月には、2009年からの活動の積み上げで、「企業が地域とか行政と長期間にわたって一緒に活動している。地域住民も巻き込む。」というところを評価していただいて、九州ヘルスケア産業推進協議会からヘルスケア貢献の特別賞をいただきました。

ミズの企業理念は、地域貢献を通じて、まず地域に愛されることで役立つことを考えましょうということです。

具体的な解決すべきテーマは「佐賀から寝たきり高齢者をなくそう」を設定しています。認知症が寝たきりの原因になっているのは、医療が発達した現代だからこそ出てきた問題です。QOL（クオリティ・オブ・ライフ）といいますが、この生活の質が極端に落ちた状態が長く続くとい医療費の負担もけっこうかかります。しかも個人が負担する医療費だけでなく、健康保険制度で、見えないところにも費用がかかっています。その見えないところを、薬局、企業として取り組んでいかなければいけません。ミズは「薬を売らない会社になりたい」と思っています。



プ：社会貢献活動から実際に事業化、商品化の事例は？

田：行政と一緒にやっている事業として「コンビニ健診」があります。今、木原店と久留米シティプラザ店で実施しています。健診に来てもらい、そのあとお買い物をされて、そこから一人でも二人でも薬局に健康相談に来てもらえれば、私たちとしては十分です。運動サービスは、これから事業化したいと思っています。

長野県に諏訪中央病院名誉院長の鎌田寛先生という方がおられます。長野県は健康寿命がずっと下位でしたが、それを20年かけて日本一にした立役者です。私たちは、その方と一緒に、佐賀県を健康寿命1位にしようと活動を始めました。これからも頑張って取り組んでまいります！！

【一言メッセージ】

田：人生100年時代が到来します。ミズは健康な町をつくることを目指して、地域＝町中で私たちの事業グループの種を見つけてきて活かしていきたい。その町の中で薬局などを展開していくのがミズですから、その種づくり、種探しを私たちはやっていきたいです。

編集後記

ミズ様から健康情報豆知識をお聞きました！

皆様「煮玉子」は作られますか？煮玉子を作る時って、おいしんですけど塩分濃度など気にされる方いらっしゃいますよね？そんな時は、ゆで玉子を作って、袋に入れてめんつゆ1:5烏龍茶を入れて冷蔵庫で寝かすと塩分少なめで作れるそうです！是非お試しください！

小柳

佐賀市市民活動プラザ広報誌

2018年12月号



HONOHONO

ホノホノとはハワイの言葉で「ぶらぶら」や「散歩」という意味です。



TOPIC. 株式会社ミズ 地域連携・予防事業グループ

従来の薬局づくりをこえ、漢方相談、化粧品、介護など新しいサービスのご提供をされている株式会社ミズ様。地域にも密着して、困りごとの解決や、セミナーなど幅広く活躍されています。今回は、そんな株式会社ミズ様の中にある地域連携・予防事業グループのグループリーダーである田久保さんに、お話を伺いました。



地域イベントへ出店

コンビニ健診1



コンビニ健診2

年末年始の業務について

平成30年は12月28日（木）22:00まで開館。年末年始の休館日は、12月29日（土）～1月3日（木）です。

平成31年は1月4日（金）9:00から開館します。

本年もプラザをご利用いただきありがとうございました！！来年も皆さまのご利用をお待ちしております。



取材記事は、広報誌裏面をご覧ください。



佐賀市市民活動プラザ

開館時間 9時～22時 年末年始以外無休

会議室の利用や掲載内容に関する問い合わせは

佐賀市白山二丁目1-12 佐賀商ビル7F

TEL: 0952-40-2002 FAX: 0952-40-2011

ホームページ: <https://www.tsunasaga.jp/plaza/>

Facebook: <https://www.facebook.com/tsunasaga.plaza>



佐賀市市民活動プラザ



プラザからのお知らせ



今日もやります！

Christmas カラーキャンペーン!!

期間：12月3の倍数の日

12/1日・3日・6日・9日・12日・15日・

18日・21日・24日・27日

A4 カラー 30円/枚

15円/枚 (グロス紙 17円)

A3 カラー 50円/枚

25円/枚 (グロス紙 29円)

市民活動団体 × 企業 = ∞

交流会

知って

つながる

お気軽にご参加ください！
※事前申し込み不要

第一部

18:30 ~ 19:15

CSRの始め方について & 協働の始め方について

CSR活動や協働を推進している企業と市民活動団体の方をゲストに招き、実施した経緯やポイントについて、お話をさせていただきます。

第一部の ゲスト

・田久保 順也氏 (株式会社ミズ 調剤開発本部 地域連携・予防事業グループグループリーダー)

各調剤薬局、そいよかね (ローソンや北島がある複合施設) などで、介護予防講座や出張講座を開催し、地域に根付いた社会貢献活動を実施しています。

・川崎 康広氏 (さがクリークネット 代表)

地域や行政などの多様な方と協働をして、佐賀市内にあるクリーク (全長 2,000km) の魅力や水辺景観の向上に取り組んでいる団体です。

第二部

19:15 ~ 21:00

アイスブレイク & ワークショップ (企画ゲーム)

佐賀ファシリテーション・カフェ (市民活動団体) のメンバーをファシリテーターとして迎え、グループのワークで、実際に社会貢献事業計画の立案と収益事業までに繋げられるかの検討をしていきます。

ファシリテーター：佐賀ファシリテーション・カフェメンバー

対象
会場
参加費

市民・社会貢献、協働に関心がある、関わっている市民活動団体、企業の方。

佐賀市市民活動プラザ フロア (佐賀市白山 2-1-12 佐賀商エビル7階)

無料



市民活動情報広場

佐賀大学医学部附属病院の ボランティア募集

趣旨

円滑な運営及びボランティア相互の交流等の便宜を図るため、ボランティアルームが設置されています。

活動場所

佐賀市鍋島 5 丁目 1-1

問い合わせ先

佐賀大学医学部附属病院
経営管理課
TEL: 0952-34-3105

日本フィル木管五重奏団 コンサート

日時

12月13日 (木) 開演 19:00

会場

佐賀市歴史民俗館 浪漫座
(佐賀市柳町 2-9)

入場料

一般 1,000 円 / 学生 500 円
(自由席)
※入場料の他に別途 500 円ドリンク代がかかります。

申込・問い合わせ先

日本フィル佐賀公演実行委員会
TEL: 0952-60-1594

パソコンICTボランティア募集

日時

12月17日 (月)・19日 (水)
・20日 (木)
各回 10:00 ~ 15:00

活動場所

神埼市中央公民館第1研修室
(神埼市神埼町鶴 3388 番地 5)

内容

障害の理解・PCでの支援等

問い合わせ先

佐賀県障害者 ICT サポートセンター ゆめくれよん+
TEL: 0952-36-6977

2018年度連合・愛のカンパ助成

助成金額

上限 15 万円まで

対象主体

ふれあい・助け合い活動団体・グループ (任意団体・NPO 法人・グループ・サークル等)

対象活動

新たに始める「ふれあい・助け合い活動」

応募締切

12月25日 (火) 必着

応募・問い合わせ先

(公財) さわやか福祉財団
TEL: 03-5470-7751

平成30年度「歴史の道みどりの 拠点づくり事業」

対象主体

当該地元市町村、事業者実施者、維持管理団体の協団体

対象活動

旧街道等の沿道で樹木を植えることが可能なスペースに対する土盛・メイン樹木、低木、地被類の植栽

応募期間

12月31日 (月)

問い合わせ先

(公財) 国際花と緑の博覧会
記念協会
TEL: 06-6915-4513

2019年度 住まいと コミュニティづくり活動助成

助成金額

1 件あたり上限 120 万円

対象主体

営利を目的としない民間団体 (法人格の有無は不問)

対象活動

地域・コミュニティ活動助成
住まい活動助成

応募締切

2019 年 1 月 8 日 (火) 必着

応募・問い合わせ先

(一社) ハウジングアンド
コミュニティ財団
TEL: 03-6453-9213

介護講座(講演) 「負担の少ない体の動かし方」

日時

2019 年 1 月 9 日 (水)
13:30 ~ 15:30

会場

さがサポセンターいきいき館
(佐賀市神野東 2 丁目 6-1)

受講料

無料 (定員 20 名)

申込

要申込

申込・問い合わせ先

佐賀県在宅生活
サポートセンター
TEL: 0952-31-8655

「未来につなぐふるさと基金」 2019年度公募

対象主体

NPO 法人・一般法人・公益法人・任意団体・営利を目的としない市民活動団体

対象活動

生物多様性の保全・啓発を目的としたたべる、ふれる、伝える、まもるのいずれかの市民参加型プログラム

応募締切

2019 年 1 月 10 日 (木) 必着

問い合わせ先

(公財) パブリックリース財団
TEL: 03-5540-6256

地域ささえあい助成

対象主体

生活協同組合、NPO 法人、任意団体、市民団体 (今後設立予定の団体でも可)

対象活動

くらしを守り、困りごとの解決をする・命を守り、人らしい生き方ができるようにする等

応募締切

2019 年 1 月 8 日 (火)
~ 31 日 (木)

応募・問い合わせ先

日本コープ共済生活共同組合連合会
TEL: 03-6836-1320

助成金情報

ボランティア情報

イベント情報

※詳細は佐賀市市民活動プラザのホームページをご覧ください。